

～つるし飾りとお雛さま～

## 伊豆稲取のんびり 1泊2日 温泉三昧と海鮮賞味

(東京都新宿区)

伊豆半島東海岸の漁港、伊豆大島を目の前にみる稲取で、のんびりと1泊2日の温泉三昧と海鮮賞味の旅を楽しみました。1月下旬の稲取の行事は、雛飾りの展示とつるし飾りで、街中の数か所で公開されていました。これがご自慢の恒例行事で、華やかで豪華な雰囲気醸し出していました。今回の旅は、のんびりとしたスケジュールの中ながらも、ミカン狩りや歴史観光なども織り込んだ充実した旅でした。

**日 時**：2019年1月28日(月)～29日(火)  
**宿泊費**：¥20,000円(宴会や観光などの費用を含む)  
**下車駅**：伊豆急稲取駅(伊豆半島東海岸)  
**参加**：15名

**集 合**：伊豆稲取駅 当日午後1時35分  
**宿 泊**：伊豆いなとり荘(温泉専用別棟あり)  
**リーダー**：

**日 程**：第1日午後 稲取町「つるし飾りとお雛かざり」；むかい庵、文化会館での展示鑑賞、かや寺参拝；樹齢750年のかやの木、消災の道、摩尼車、本殿参拝、  
第2日午前 稲取町「ミカン狩り」；ミカン園ふたつぼりで伊予柑とはるかの収穫、「つるし飾りとお雛かざり」；ふたつぼりの民家での展示鑑賞  
第2日午後 伊東市「歴史観光」；歴史建造物東海館の見学、木下杢太郎記念館での業績を勉強

### ◆伊豆稲取 つるし飾りとお雛かざり

メイン会場が数か所にあり、海に面した「むかい庵」、街中の「文化公園雛の館」、山腹の「ふたつぼり」を巡りました。

つるし飾りは伝統的な事物をかたどり、色とりどりの布製でつくり天井から下げた紐に吊り下げてありました。大きい飾り、かわいい飾りなど会場毎に、吊りさげ毎に趣を異にしていました。一つの飾りの製作に数時間かかるのとことと、これだけの数をそろえるのには毎年の積み重ねの賜物だそうです。現代風のキャラクターがあったり、海の中をイメージしたものがあったりして、つるし飾りも時代につれて変っていくよ

うです。また日本3大つるし飾りとして、柳川、酒田にもあり夫々趣を異にしています。



### ◆伊豆稲取 つるし飾りの体験工房「絹の会」



つるし飾り作りを体験できる工房がありました。材料の布などが用意してあり、お好みのつるし飾りを自分の手で創り上げることができます。

### ◆稲取 済広寺(かや寺)

寺内に一步踏み入ると、左手に樹齢750年を超える「かやの木」がありました。すぐにタッチして、パワーをいただきました。本殿には懺悔の仏が、鎮座していました。そして右手の階段を降りると、真っ暗な空間で難を落とす「消災の道」があり、右手の壁を触りながら手探りで歩いて光のありがたみを感じる時でした。「干支占い」ができる摩尼(まに)車で



は、気になる運試しをしました。

### ◆伊豆稲取 いなとり荘 全室オーシャンビュー

伊豆半島東側を南に下がった、道路を挟んで海岸に面した大きな宿でした。部屋の海に面した枠なしの大ガラス窓からは、一幅の絵画の趣で波頭の砕け、遠望の伊豆七島、日の入りや日の出の光のショー、そして夜の月や星の輝きを鑑賞しました。特に、夕日の茜と海に突き出た山の重なるの陰影、夜の海を明るく照らす中天の月と金星のキラメキ、海からの日の出の輝きなどには堪能しました。